

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52231	幼児と環境 Child-care Contents (Environment)	桂山たかみ・ 新美 順子			1	必修	1年前期

**科目の概要**

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されるように保育は環境を通して行う。領域「環境」のねらい・内容を理解し、保育の全体的構造の中の位置づけを知る必要があり、環境構成は保育者が意図的に構成しなければならない。その上で乳幼児の発達を理解し、領域「環境」の具体的な保育場面を想定した保育の構想と指導法を実践する。さらに、獲得した知識・技術を活用し、課題解決力を身に付ける。これらの内容はディプロマ・ポリシー①～④、⑥に相当する。

学修内容	到達目標
① 幼児理解に基づいた保育の構想の重要性を理解する。 ② 幼児の特性を考慮し、教材の活用法を理解する。 ③ 具体的な保育内容を想定した指導計画の作成方法を理解する。 ④ 模擬保育の振り返りを通して、改善する視点を持つ。 ⑤ 環境の特性に応じた実践の動向を知る。	① 幼児理解に基づいた保育の構想ができる。(DP③) ② 幼児の特性を考慮し、教材を活用した保育ができる。(DP②③) ③ 具体的な保育内容を想定し、指導計画を作成することができる。(DP①③⑥) ④ 模擬保育の振り返りを通して、改善する視点を持つことができる。(DP④⑥) ⑤ 環境特性に応じた実践動向を知り、改善に取り組むことができる。(DP①③⑥)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	環境構成を積極的に考えることができる。
	働きかけ力	
	実行力	環境構成について多面的な視点から調べ、様々な環境構成の構築に活用できる。
考え抜く力	課題発見力	身近な環境を保育内容に関連付け、ねらい・内容につなげることができる。
	計画力	
	創造力	保育内容（環境）のねらい・内容を自身の生活や経験と結びつけて考えることができる。
チームで働く力	発信力	自身で考えた、ねらい・内容を他者に分かりやすく伝えることができる。
	傾聴力	他者の考え方の要点を理解し、自身との相違点を尊重することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：事例と演習でよくわかる保育内容「環境」2, 200円（税込み）駒井美智子・横山文樹編著 中央法規  
 参考文献：「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説書」「幼保連携型認定こども園保育教育要領解説書」

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：保育内容総論、保育内容（環境）、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（表現）、保育内容（言葉）  
 資格との関連：幼稚園教諭二種免許状・保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
自分を取り巻くものはすべて環境と理解し、保育者になろうとする自覚を持ち、生活経験を広めるよう努力すること。身の回りにおける伝統行事、家庭文化、生活習慣などに関心を持ち理解する。事前事後学修には、AI (NotebookLM, Geminiなど) の適切な使い方や倫理的課題を理解したうえで、積極的に活用してください。	テキストや保育所保育指針等を必ず持参のこと。毎回演習を行うための準備を済ませ授業に臨むこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		40	①	✓	
					②		
					③	✓	
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		50	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>環境の特性を理解し、保育の内容を意識して環境構成する力を持つ。 総合評価し90点以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。</p>	<p>作品、レポートなど課題に対し保育者を意識した取り組みができる。 総合評価し79～70はB（良）、69～60はC（可）とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション領域「環境」とは(環境の定義と乳幼児期における環境の意義)	講義	授業の目的、内容、進め方について理解し今後の学修方法を知ることができる。 環境は人が生きていくうえで大切なものであることや幼児教育にとっての重要性を認識することができる。	(予習) 保育所保育指針解説書「環境」のページを読む。 (復習) 本日の授業振り返り、まとめておく。	45	傾聴力 規律性
2	・幼児を取り巻く環境の諸側面(物的環境、人的環境、社会的環境)と発達における重要性 ・さつまいもの畑づくり	講義・演習	これまでの学修を踏まえ、子どもにとってふさわしい環境について、保育者としての意見をもち、発表することができる。 他者の意見を聞いたり、解説を受けたりすることを通して、子どもにとってふさわしい環境について理解し、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分の意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 観察記録ノート作成	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	・乳幼児を取り巻く環境における現代的な課題 ・さつまいもの畑づくり	講義・演習 グループ討議	これまでの学修を踏まえ、乳幼児が地域社会に関わる際の援助について、保育者としての意見をもち、発表することができる。 他者の意見を聞いたり、解説を受けたり、実際に公園等に行くことで、乳幼児が地域社会へかかわる際の安心安全の保障や保育者の援助について理解し、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) テキストを読んでおく。 (復習) 観察記録ノート作成	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	・乳幼児期における生物・自然との関わり(自然物や身近な素材を用いた製作や遊び) ・指導案作成(植物に触れる環境構成) ・さつまいもの畑づくり	講義・演習	保育者として自然物に興味をもち、それを生活や遊びに取り入れる方法を実践的を通して理解することができる。	(予習) 学内の「自然」を探し、把握しておく。 (復習) 観察記録ノート作成	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
5	・乳幼児における標識・文字等の環境への関わり ・指導案作成(植物に触れる環境構成) ・さつまいもの畑づくり	講義・演習 グループ討議	これまでの学修を踏まえ、乳幼児の文字等への関わりに対する援助について、保育者としての意見をもち、発表することができる。 他者の意見を聞いたり、解説を受けたりすることを通して、乳幼児の文字等への興味・関心について理解し、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分の意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 観察記録ノート作成	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	・植物に触れる環境構成 ・さつまいものつる挿し	演習	園児とのかかわり実践から、環境構成の展開、再構成を理解できる。	(予習) 作成した指導案をよく読み理解しておく (復習) 観察記録ノート作成	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	・教材研究①「身近な自然物を使った製作」 ・さつまいもの観察	演習 グループワーク	身近な自然物に興味・関心をもち、積極的に活動に参加することができる。 身近な自然物の教材的価値を理解することができる。	(予習) 事前準備として、森林や公園等で木の実や小枝、落ち葉などを集めておく。 (復習) 観察記録ノート作成	45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
8	・教材研究②「身近な自然物を使った玩具」 ・さつまいもの観察	演習 グループワーク	事前に作成する玩具について調べ、必要な材料、用具を用意し、授業に臨むことができる。 授業時間内に作品を完成させることができるよう、必要な準備等を事前に済ませておくことができる。 乳幼児が作製する、もしくは、遊ぶことを想定しながら、玩具を作製したり、作品の省察を行ったりすることができる。	(予習) 事前準備として、身近な自然物を使った玩具を考え、必要な材料、用具を用意する。また、必要に応じて、授業時間内に作製し終えることができるように準備しておく。 (復習) 観察記録ノート作成	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・子どもにとって「身近」である意義について、理解する。 ・さつまいもの観察	講義・演習 グループ討議	これまでの学修を踏まえ、乳幼児にとって身近であることと保育者としての意見を持ち、発表することができる。聞いたり、解説を受けたりすることを通して、乳幼児にとって身近であることの意義について、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 観察記録ノート作成	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
10	・教材研究③「身近な素材を使った玩具」 ・さつまいもの観察	演習 グループワーク	身近な素材を使った玩具作りに興味・関心を持ち、積極的に活動に参加することができる。活動から、ねらい・内容を導き出すことができる。発達に応じて、活動のねらい・内容が異なることが理解できる。	(予習) 授業内で指定された材料、用具を用意する。 (復習) 観察記録ノート作成	45	実行力 課題発見力 発信力 規律性
11	・教材研究④「あそび博士(1)」 ・さつまいもの観察	講義・演習 グループワーク	幼児期の遊びに興味・関心を持ち積極的に活動に参加することができる。グループ内で扱った活動の教育的価値について考えることができる。	(予習) 集団遊びを調べ遊びを進めることができるようにしておく。 (復習) 観察記録ノート作成	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
12	・特別講師による講義① 自然環境と持続可能な社会を学ぶ	講義 グループ討議	持続可能な社会の実現に向け、幼児期から育む重要性を理解する。	(予習) テキストを読み「持続可能な社会」について基礎知識を得ておく。 (復習) 得た知識をレポートにまとめる。	45	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	・特別講師による講義② 自然環境と持続可能な社会を学ぶ	講義 グループ討議	持続可能な社会の実現に向け、幼児期から育む重要性を理解する。	(予習) テキストを読み「持続可能な社会」について知識を得ておく。 (復習) 得た知識をレポートにまとめる。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	・教材研究⑤「あそび博士(2)」 ・さつまいもの観察	演習 グループワーク	幼児期の遊びに興味・関心を持ち積極的に活動に参加することができる。	(予習) 集団遊びを調べ遊びを進めることができるようにしておく。 (復習) これまでの学修を振り返り、まとめレポートを作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	・幼児期と小学校期の連携・接続の必要性和可能性 ・さつまいもの観察	講義・演習	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を共通言語とし、小学校での資質・能力の育成へとつなげる具体的な方法を考察できる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) これまでの学修を振り返り、まとめレポートを作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力